

**Topic** 公明党市議団として推進!  
**STOP受動喫煙**

令和2年4月1日から  
多数の人が利用する施設は  
**原則屋内禁煙**

4月1日から千葉市が制定した“受動喫煙防止条例”の運用が始まります。

受動喫煙は脳卒中やがんなどのリスクを高めます。他人のたばこの煙などを吸ってしまう“受動喫煙”を防ぎ、市民の皆様の健康を守りましょう!

▶ 飲食店やオフィス、店舗などは原則屋内禁煙。  
▶ 屋内で喫煙できるのは、専用の喫煙室の中だけ。  
▶ 喫煙室がある施設には、標識が掲示されます。  
▶ 20歳未満の方は、従業員を含め、喫煙可能な場所には入れません。

飲食店 劇場  
パチンコ店 職場・オフィス

2020年4月以降、屋内では原則禁煙

九都県市

**新型コロナウイルスに関する市民向け電話相談**

☎ **043-238-9966** 対応時間 9:00 ~ 17:00(土日・祝日も実施)

耳や言葉のご不自由な方からのお問い合わせは [kansensho.PHO@city.chiba.lg.jp](mailto:kansensho.PHO@city.chiba.lg.jp)

**中小企業者の資金繰りおよび経営相談の窓口設置**

新型コロナウイルス感染症の流行により事業活動に影響が生じている中小企業者への融資制度や資金繰り等に関する相談窓口を、(公財)千葉市産業振興財団(千葉市ビジネス支援センター)に設置しています。

☎ **043-201-9506** 開設時間 (平日)9:00 ~ 17:00

URL: <https://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/sangyo/shikinyuushi.html>

市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

お住い・年齢について(該当するものに✓をおつけください。)

▶ お住い  中央区  花見川区  稲毛区  若葉区  緑区  美浜区

▶ 年齢  20歳未満  20~39歳  40~59歳  60~74歳  75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立てて参ります。 **FAX.043-245-5584**

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <http://gate.ruru.ne.jp/chibakomei/>

公職選挙法により、議員個人による選挙区内の皆様に年賀状等のあいさつ状を出すことが禁じられています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

**公明党千葉市議会議員団** 2020 春号

市議会だより 発行日/令和2年3月 発行/公明党千葉市議会議員団  
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

**子育て・教育施策を拡充!** 子育て支援の新たな需要に対し、事業や体制が充実します。



美浜区幸第1保育所

- 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う  
母子健康包括支援センター相談員の増員・9人 ▶ **13人** (1350万円)
- 家事や育児を援助するエンゼルヘルパー派遣対象家庭の拡充 (960万円)
- 民間保育園等の土曜日の延長保育への助成拡充・10月から**6園分** (200万円)
- 公立保育所の使用済み紙おむつ廃棄事業の実施 (1300万円)
- 小学校・専科教員(音楽に加え、図工、家庭、体育)の増員・20人 ▶ **60人** (1億6500万円)
- 中学校・部活動指導員の増員・10人 ▶ **55人** (2300万円)
- 学校からの法律相談に対応するスクールロイヤーの配置 (80万円)
- フリースクールと学校の連携に向けた取り組み強化 (200万円)
- 学校施設の大規模改造、外壁改修、トイレ改修、冷暖房設備設置 (32億6000万円)
- 小学校給食室エアコン設置・11校 (2500万円)
- 小中学校エアコン管理運営 (光熱費1億2600万円)
- 児童相談所体制強化・夜間の児童虐待通告相談員の増員・1人 ▶ **2人** (575万円)



学校給食室のエアコン

## ◆ 災害に強いまちづくりについて



花見川区積橋中学校・太陽光発電設備

新年度予算では、災害に強いまちづくり・政策パッケージと題し、防災・減災関連事業が数多く盛り込まれているが、その考え方とポイントとなる取り組みについて伺いました。

市長からは「長期間かつ広範囲の停電とそれに伴う通信障害や断水への対策、避難所での対応等について検証しました。その結果を踏まえ、電力の強靱化をはじめとした5つの柱に基づき、民間事業者との連携による、避難所への太陽光発電設備・蓄電池の整備や電気自動車等を活用したマッチングネットワークの構築などを行ってまいります」との答弁がありました。

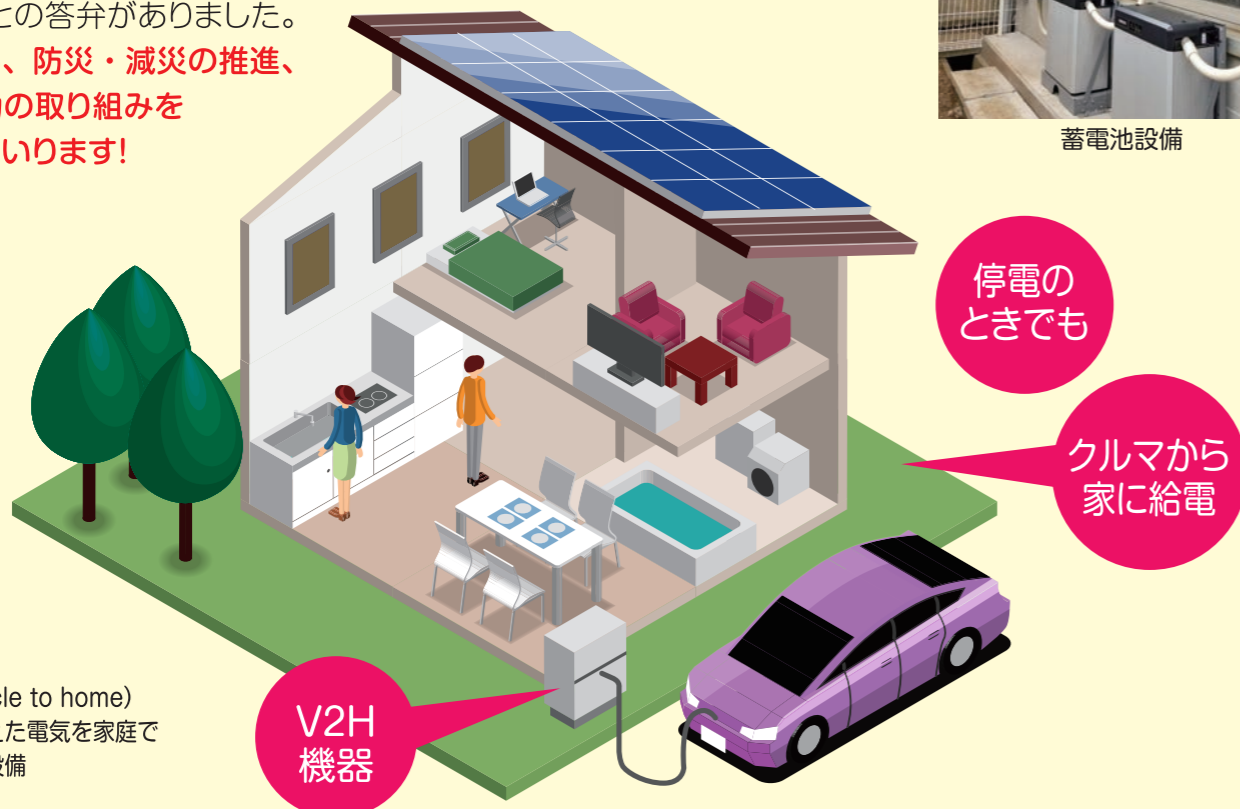
さらに、真に災害に強いまちづくりを目指し防災の主流化を進めること、防災の日常化・効果的な啓発など自助・共助の一層の強化について伺いました。

市長からは「今後は、市政のあらゆる分野を防災の観点からとらえ、防災の主流化を念頭に災害に強いまちづくりを目指してまいります。

また、**自助の強化**については、停電時に電気自動車等を電源として活用する一般住宅用充給電設備V2H等の購入に対して助成し、**共助の強化**については、自主防災組織や避難所運営委員会等に一斉にメールを発信する体制を構築することや、町内自治会集会所を避難所として活用することを検討してまいります」との答弁がありました。

**今後とも、防災・減災の推進、自助・共助の取り組みを強化してまいります!**

※V2H (vehicle to home)  
クルマに蓄えた電気を家庭で  
使うための設備



蓄電池設備

## ◆ 電話 de 詐欺対策の強化に向けて!

「電話de詐欺」と称し、被害防止の周知啓発を図っていますが、本市においても県警と連携し、詐欺被害防止に取り組んでいます。そこで千葉市の被害状況とその対策、および迷惑電話防止機器等の設置推進を求めました。

副市長からは「電話de詐欺の市内被害総額は、昨年1年間の暫定値で、約3億9000万円と深刻な状況です。被害防止のための高齢者向け講演会や講座を継続して実施するとともに、通話録音、着信拒否、警告メッセージなどの機能を有する迷惑電話防止機器等の設置について、令和3年度から始まる地域防犯計画の策定を予定していることから、設置促進の支援について検討する」旨の答弁がありました。

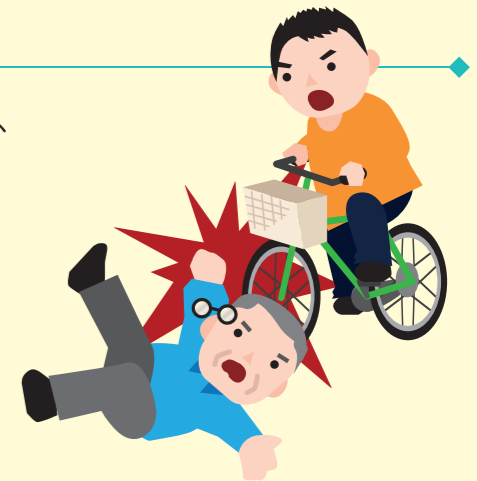


千葉市消費生活センター

## ◆ 自転車保険の加入促進を!

平成29年に施行された「千葉市自転車を活用したまちづくり条例」では、自転車保険の加入は努力義務であり、さらなる加入促進の取り組みの強化を要望しました。

副市長からは「市内の自転車対歩行者の事故件数が増加傾向にあることや、全国では高額な賠償命令が出される死亡事故などが発生していることから、自転車事故の被害者救済と加害者の経済負担の軽減を図り、市民の安全・安心をさらに向上させるため、令和3年度の自転車保険加入の義務化を目指し検討する」との答弁がありました。



## ◆ キッズ・ゾーンの整備を要望!

近年、幼い子どもたちが犠牲になる痛ましい交通事故が頻発しており、小学校等の通学路に設けられているスクール・ゾーンに準ずる「キッズ・ゾーン」整備の推進について要望し、ゾーン設定の取り組みに対する見解を伺いました。

副市長から「キッズ・ゾーンの安全対策の例として、キッズガードの配置、路面の塗装等による注意喚起、ガードレールの設置、交通規制等が示されており有意義なものとする。今後は、市内の未就学児が通う約500施設に対して、キッズ・ゾーンの設定・整備に向けて取り組んでいく」との答弁がありました。



キッズ・ゾーン路面標示